

新・こどもと健康

No.117

2026.10.1

～高1でHPVワクチン未接種の方は急ぎましょう～

HPVワクチンは高校1年で終了しないと公費ではなくなります。高校1年で今からスタートする場合、標準の間隔ではもうできませんが、時間がない場合の方法として、1回目と2回目の間隔が1か月以上、2回目と3回目の間隔が3か月以上というのを使えば、間に合います。未接種の対象の方はとにかく早くスタートしましょう。

インフルエンザ拡大中、9県で注意報レベル

全国、大阪府、堺市のインフルエンザの定点あたり

注意報レベル(10以上)の9県
(第38週 9月14日～9月20日)

	全国	大阪府	堺市
第34週(8/17～8/23)	1.11	0.45	0.44
第35週(8/24～8/30)	1.76	0.77	0.68
第36週(8/31～9/6)	3.29	1.38	1.44
第37週(9/7～9/13)	5.54	2.62	3.28
第38週(9/14～9/20)	8.48	4.05	4.60

沖縄県	26.27	埼玉県	13.56
東京都	15.21	茨城県	13.47
愛知県	15.12	富山県	10.77
神奈川県	14.71	新潟県	10.16
千葉県	14.36		

厚生労働省のインフルエンザ発生状況によると、第38週(9月14日から20日)の全国の定点当たりの平均は8.48でした。注意報レベル基準値の10を9県が超えていました。沖縄県が

26.27のトップで、東京都の15.21、愛知県の15.12、神奈川県の15.71、千葉県の14.36と続きます。大阪府は4.05、堺市は4.60でした。堺市での同期間における公立小・中学校の学年閉鎖は延べ4校、学級閉鎖は延べ47校でした。

出典：厚生労働省HP『(Press Release)インフルエンザの発生状況をお知らせいたします(令和8年9月29日)』、大阪府感染症情報センターHP『週報 ブロック別年齢別発生状況【2026年 第38週 9月14日～9月20日】』、『週報 インフルエンザ施設別発生状況【2026/2027シーズン 第3報 9月14日～9月20日】』

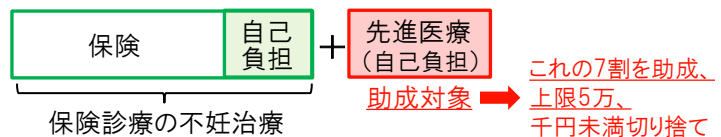
堺市、不妊治療費(先進医療)の助成を10月1日から受付開始

対象者	次のいずれにも該当する方 (1) 申請日時時点で夫婦のうちいずれかが堺市に住所を有すること (2) 治療開始日時時点で夫婦であって、妻の年齢が43歳未満であること (3) 令和8年4月1日以降に助成対象となる治療を開始したこと (4) 助成対象となる先進医療について、他の自治体で助成を受けていないこと
対象となる治療	先進医療の実施機関として厚生労働省地方厚生局へ届出又は承認されている医療機関において、保険診療で実施された治療と併用して行われた先進医療
助成額	保険診療で実施された生殖補助医療と併用して行われた、先進医療に要した費用の総額に10分の7を乗じた額(上限5万円・千円未満切り捨て)
助成回数	・治療開始日時時点で妻の年齢が40歳に満たない場合は6回、40～42歳の場合は3回まで ただし、1回の治療で行った先進医療を分けて申請することはできません。 ・助成を受けた場合、出産した場合は、これまで受けた助成回数をリセットします。 また、妊娠12週以降に死産に至った場合も、助成回数をリセットします。
申請方法	申請に必要な書類を揃えて、堺市電子申請システムにて申請してください。 各区保健センターでも書類の受付は可能です。

堺市は不妊症で悩むご夫婦の経済的負担を軽減するためとして、令和8年10月1日から、医療保険適用の生殖補助医療を行う際に併用して先進医療を受けられた方に対し、先進医療費の一部を助成する「堺市不妊治療費(先進医療)助成事業」を開始します。

先進医療に要した費用の総額に10分の7を乗じた額が助成されます(上限5万円、千円未満切り捨て)。

限5万円、千円未満切り捨て)。左記のような条件等がありますので、ホームページなどをよく確認してください。



全ての治療を保険適用外の自費診療で実施された不妊治療と併用して行われた先進医療、夫婦以外の第三者からの精子・卵子・胚の提供によるもの、代理母(妻が卵巣と子宮を摘出したことなどにより、妻の卵子が使用できず、かつ、妻が妊娠できない場合に、夫の

令和8年8月1日時点で先進医療と告示されている技術

子宮内膜刺激術(SEET法)
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養
子宮内膜擦過術(子宮内膜スクラッチ)
ヒアルロン酸を用いた生物学的精子選択術(PICSI)
子宮内膜受容能検査1(ERA)
子宮内細菌叢検査1(EMMA/ALICE)
強拡大顕微鏡による形態良好精子の選別法(IMSI)
二段階胚移植法
子宮内細菌叢検査2(子宮内フローラ)
子宮内膜受容能検査2(ERPeak)
膜構造を用いた生物学的精子選択術
着床前胚異数性検査2(PGT-A)

精子を妻以外の第三者の子宮に医学的な方法で注入して、当該第三者が妻の代わりに妊娠・出産するもの)によるもの、借り腹(夫婦の精子と卵子は使用できるが、子宮摘出等により、妻が妊娠できない場合に、夫の精子と妻の卵子を体外受精して得た胚を妻以外の第三者の子宮に注入して、当該第三者が妻の代わりに妊娠・出産するもの)によるもの、入院時食事療養費、差額ベッド代及び文書料等、不妊治療に直接関係ない費用については、助成の対象外となります。

出典：堺市HP『不妊治療費(先進医療)の助成について(2026年8月21日)』

麻しん風しん(MR)ワクチン不足に伴い、Ⅰ期・Ⅱ期・風しん第5期定期接種で迎えたはずの令和7年3月末までの期限は2年延長可能

四種混合ワクチンは製造中止です。代わりに三種混合＋ヒブワクチンか、五種混合ワクチンを接種かです。詳しくは2025年8月号(No. 103)をご覧ください。

当科の診療時間帯

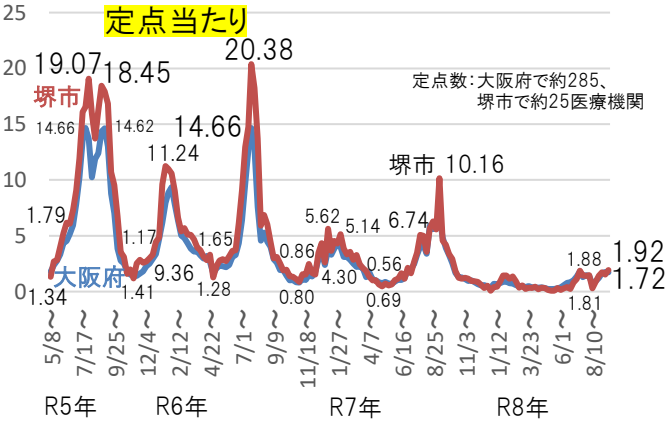
2026年10月の 診療時間帯 (予告なく変更する 場合があります)	9:00～10:00	感冒症状の全くない方専用(予約不要)	※予約された方は無 断キャンセルしないで ください。 他の方の受診機会 を奪っています。
	10:00～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)	
	17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)	
	17:30～18:45	何らかの症状のある方(事前予約必要)	

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

当院におけるかかりつけ医機能についての掲示内容

1. かかりつけ医機能に関する研修の修了者および総合診療専門医について
研修の修了者の有無：有、1.0名、総合診療専門医の有無：無
2. 一次診療の対応について
(1) 一次診療の対応ができる領域：○小児領域
(2) 一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患：
○中耳炎・外耳炎、○かぜ、感冒、○アレルギー性鼻炎、○下痢、胃腸炎、○便秘、○皮膚の疾患
3. 医療に関する患者からの相談の対応について：可

新型コロナウイルス感染症は漸増傾向



新型コロナウイルス感染症の定点報告数(最近約6か月間)

	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市
R8.3/30～	108	8	5/18～	70	2	6/29～	285	20
4/6～	105	11	5/25～	82	8	7/6～	384	28
4/13～	100	5	6/1～	108	4	7/13～	516	47
4/20～	112	9	6/8～	163	7	7/20～	373	36
4/27～	93	8	6/15～	220	10	7/27～	423	35
5/4～	68	4	6/22～	242	6	8/3～	402	37
5/11～	67	2				8/10～	182	7
						8/17～	263	22
						8/24～	341	35
						8/31～	462	43
						9/7～	504	38
						9/14～	489	48

新型コロナウイルスの定点報告は7月13日から週の大阪府1.81、堺市1.88の小さいピークのあと一旦減りましたが、9月14日からの週に大阪府は1.72、堺市は1.92まで漸増傾向にあります。

出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症発生状況2023年 第19週～2026年 第38週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

	検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率		検査数	陽性者数	陽性率
R8.3/30～	2	0	0%	5/18～	4	0	0%	7/6～	3	0	0%	8/17～	1	0	0%
4/6～	3	0	0%	5/25～	2	0	0%	7/13～	5	1	20%	8/24～	1	0	0%
4/13～	4	0	0%	6/1～	0	0	0%	7/20～	4	0	0%	8/31～	3	0	0%
4/20～	4	0	0%	6/8～	1	0	0%	7/27～	0	0	0%	9/7～	4	0	0%
4/27～	5	0	0%	6/15～	3	0	0%	8/3～	1	0	0%	9/14～	4	1	25%
5/4～	1	0	0%	6/22～	2	0	0%	8/10～	1	0	0%	9/21～	8	3	38%
5/11～	1	0	0%	6/29～	2	0	0%								

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、みなし陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数＋みなし陽性者数)÷(抗原検査数＋みなし陽性者数)で計算しています。9月は30日までに陽性の方は6名おられました。

10月の変更・休診等

3日(土) 片桐→赤澤
10日(土) 片桐→赤澤
17日(土) 片桐→赤澤
24日(土) 片桐→赤澤
31日(土) 片桐→赤澤

11月以降の時短や休診のお知らせ

11月21日(土) 公務のため、休診とさせていただきます。